

高富児童館だより

閩高富児童館 TEL22-4750

乳幼児教室 ベビママ

9月から乳幼児教室ベビママが始まります。ベビママ教室は、令和7年度生まれのお子さんとその保護者が対象となります。

初回の9月9日(火)は、親子あそびを行います。赤ちゃんはどうやって遊ぶの?と思うかもしれませんが、わらべうたなどで赤ちゃんがたくさんふれあいます。赤ちゃんも、パパやママの顔をしっかり見て、いっぱい笑ったり手足を動かしたりします。

教室の前後には、交流タイムを設けています。友達作りの機会としてください。育休中のパパも増えています。家族で参加也大歓迎です。

今後のベビママ教室の予定
救命救急講習、カレンダーづくり、
バランスボール体験、足形アート

乳幼児教室 ベビママ

日時	毎月第2、4火曜日 10時30分～11時30分
場所	高富児童館
対象	令和7年4月2日から令和8年4月1日 生まれのお子さんとその保護者
申込	電話か来館時直接申し込み



▲令和6年度ベビママの様子

地域包括支援センターだより

閩南部地域包括支援センター TEL22-6886
閩北部地域包括支援センター TEL52-3340

認知症サポーターになって みんなで暮らしやすい地域に

知っていますか?小中学生も認知症サポーター養成講座を受講中

認知症は誰にでも起こりうる身近な病気です。現在、市内小中学生が認知症サポーター養成講座を受講し、地域での見守りに一役かってくれています。「自分の家族が認知症になったら」「認知症の人にどう声をかけたらいいだろう」といった不安や疑問に対し、小中学生向けの教材やDVD、ロールプレイングなどを通して、認知症や認知症の人との接し方などを学んでいます。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように支えることは、私たち一人一人にできることです。



▲小学生向け教材

あなたの一歩が、誰かの安心につながる

認知症サポーター養成講座では、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守るための知識や接し方を学ぶことができます。認知症サポーターは、特別なことをする人ではありません。地域の中で、認知症の人を理解し、温かい目で見守る「応援者」です。あなたの一歩が、認知症になっても安心して暮らせる優しい地域づくりにつながります。

受講を希望する人は、健康介護課(Tel22-6838)か地域包括支援センターに連絡してください。



▲認知症サポーター養成講座
伊自良南小学校

骨粗しょう症検診の案内 ～骨を丈夫に、いつまでも元気に歩くために～

骨粗しょう症検診は必要？

骨の強度が低下して、骨折しやすくなる骨の病気を「骨粗しょう症」といいます。骨粗しょう症は痛みなどの自覚症状がないことが多く、特に女性の閉経後は、骨粗しょう症のリスクが高まります。女性は40歳を過ぎたら、自身の骨密度を確認するために市の検診を利用してください。



【令和6年度 山県市骨粗しょう症検診の状況】

受診者数	異常なし	要観察 (B判定)	要精密 (C判定)
268人	105人 (39.2%)	66人 (24.6%)	97人 (36.2%)

若年成人(20～44歳の健康な男女)と比較し、平均骨密度が80%未満であり、生活習慣の改善や治療の相談が必要となる人が4割弱という結果でした。

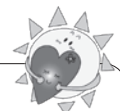
【骨粗しょう症検診を受診した後は】

骨粗しょう症は、早期発見と継続的な治療・生活習慣の改善で進行を防ぐことができます。自己判断せず、医師と相談しながら適切な治療を続けることが大切です。

【山県市骨粗しょう症検診の案内】

5月頃に案内ハガキが届いた40・45・50・55・60・65・70歳の女性を対象です。

- ▶日程 9月16日(火)、9月24日(水)
 - ▶自己負担金 500円
 - ▶検診内容 腕のレントゲン(DXA法)
 - ▶場所 保健福祉ふれあいセンター
 - ▶持ち物 案内はがき、自己負担金
 - ▶予約の問い合わせ 0581-32-9366
- ※検診結果は当日渡します。



いつまでも自分の足で歩くために、まずは骨の健康チェックから始めよう。予約枠に限りがあるので、早めに申し込んでね。

山県市赤十字奉仕団だより

閩福祉課 Tel.22-6837

山県市赤十字奉仕団の活動について

市全体では、約100人の団員がいます。民生委員と協力し高齢者にお見舞いの品や花を届ける活動をしています。

10月5日(日)開催のふるさと栗まつりでは、防災用品の展示やアドバイスを行います。また、日本赤十字社は、現在開催中の大阪・関西万博では、パビリオンを出展しています。



▲山県市赤十字奉仕団ビブス(前)



▲山県市赤十字奉仕団ビブス(後ろ)

活動内容

- ①日赤岐阜県支部で基礎研修の受講(歴史や働き、病院や学校について)
- ②災害予防や健康保持などについての研修の受講
- ③県下統一事業
 - ・自宅で暮らすほぼ寝たきりの人にお見舞いの品を届ける。(7月)
 - ・一人暮らしの人に花を届ける。(11月)(どちらも高齢者台帳に登録してある人)
- ④年に3～4回、献血車が来たときに啓発活動をする。(市役所やふるさと栗まつり会場)



◀日本赤十字奉仕団ボランティアマーク

山県市赤十字奉仕団 団員募集中！

一緒にボランティア活動をして、地域社会に貢献しよう。